



TURBOSYSTEMS

4K UHD XJive Player RTP 受信 操作説明書

ターボシステムズ株式会社

RTP 受信形式

XJive の対応する RTP 受信形式は以下の 4 種類です。

- IPv4 ユニキャスト
- IPv4 マルチキャスト
- IPv6 ユニキャスト
- IPv6 マルチキャスト

RTP ヘッダ 12byte + mpegts 188byte x 7 の合計 1328 バイトを 1 パケット単位とし受信します。



mepgts と mepgtts は自動判別されます。mpegts は 188byte 単位、mepgtts は 192byte 単位のパケットです。

RTP 受信形式	説明
IPv4 ユニキャスト	RTP サーバから受信器 IPv4 アドレス及びポートを指定して送信する場合の受信ができます。
IPv4 マルチキャスト	RTP サーバから受信器 IPv4 マルチキャストグループ及びポートを指定して送信する場合の受信ができます。 IGMPv3 ルーティングコントロールをサポートします。
IPv6 ユニキャスト	RTP サーバから受信器 IPv6 アドレス及びポートを指定して送信場合の受信ができます。
IPv6 マルチキャスト	RTP サーバから受信器 IPv6 マルチキャストグループ及びポートを指定して送信する場合の受信ができます。 MLDv2 ルーティングコントロールをサポートします。

XJive での使用法 .rtp ファイル

XJive からアクセス可能な場所に動画ファイルと同様に拡張子「.rtp」をもった任意の名前のテキストファイルを用意します。

RTP 受信形式により記述フォーマットが異なります。以下の記述例を参考にしてください。

XJive のコンテンツ一覧画面で作成した「.rtp」ファイルを選択すると RTP 受信が始まります。

IPv4 ユニキャストの記述例

ポート番号のみ記述します。

```
1234
```

IPv4 マルチキャスト ルーティングコントロールなしの記述例

ポート番号及びマルチキャストグループを指定します。

```
6000 224.0.1.2
```



Ver 2.03.5 以降、送信ソースアドレスの指定が必須になりました。

IPv4 マルチキャスト ルーティングコントロールありの記述例

ポート番号及びマルチキャストグループ、送信ソースアドレスを指定します。

```
6000 224.0.1.2 192.168.13.10
```

IPv6 ユニキャストの記述例

IPv6 の ANY アドレス「[::]」とポート番号を:で連結し記述します

```
[::]:1234
```

IPv6 マルチキャスト ルーティングコントロールなしの記述例

ポート番号及びマルチキャストグループを指定します。

```
6000 ff0e::100
```



Ver 2.03.5 以降、送信ソースアドレスの指定が必須になりました。

IPv6 マルチキャスト ルーティングコントロールありの記述例

ポート番号及びマルチキャストグループ、送信ソースアドレスを指定します。

```
6000 ff0e::100 ff0e::ae9e:17ff:fe82:9cf2
```